

## ～夢のような 11 日間～

七飯高等学校 2 年 見延 懂子

中学の頃から、ずっと行きたかったコンコード。様々な出会いや貴重な体験をすることができ、夢のような 11 日間でした。

出発当日。実感が湧かないままボストン空港へ！13 時間のフライトは人生初だったので緊張しましたが、意外とあっという間でした。

入国審査を終え、ボストン空港を出発。初めてスクールバスに乗りカーライル高校へ！高校に到着すると、たくさんの人達が歓迎してくれました。

そしてホストファミリーとの初対面。緊張で固まっている私を、暖かい笑顔で迎えてくれ嬉しかったです。家は私の家の 3 倍くらい大きくて素敵で、4 匹の猫を飼っているのですが、とても可愛かったです。お土産を渡すととても喜んでくれ、一緒に折り紙や竹トンボで遊び楽しかったです。私は天嶺さんと同じホストファミリーだったので協力して、単語中心ではありませんでしたが、七飯のことを説明したり、楽しく話せました。

### 《2 日目》

朝早く車で高校に向かう道中、映画のワンシーンのような綺麗な景色と自然の豊かさに感動しました。

カーライル高校は七飯高校よりとても大きく、廊下の壁にはテレビがついていたり、ホールやジムなどがあり驚きました。学級制が無く受けたい授業を選択できたり、授業中にパソコンを使えるのは日本の大学に似ていると感じました。

午前には校舎内のテレビ局とラジオ局に行き、出演しました。緊張して上手く話せませんでしたが良い経験ができました。午後は化学の授業を受け、先生が特別にメントスを爆発させる実験をしてくれ面白かったです。

そして昼に学食を食べたのですが、アメリカのぶどうの美味しさに感激し、夜はお父さんの John の誕生日祝いで寿司屋に行き、マグロの美味しさに驚きました。初めて知る事ばかりで楽しかったです。

### 《3 日目》

皆とセーラム市を散策。この街は昔、魔女狩りが起こり、たくさんの人が処刑されたという話を聞き悲しくなりました。翌日がハロウィーンだということもあり、仮装した人で賑わっていました。

その後はホストファミリーと電車に乗り、ボストンのバスケットチーム

「CELTICS」の試合を観戦しました。Sarah はダンスチームに所属していて試合の前に踊っていたのですが、とても上手で楽しそうでした。試合は負けてしまいましたが、最高の思い出になりました。

#### 《4日目》

ハロウィーン当日！まず歓迎パーティーがあり、いか踊りを踊ったり、たくさんの人と仲良くなれました。

そして夜はアリスの仮装をして Sarah の友達と一緒に“Trick or treat”と言って歩き、お菓子をいっぱいもらいました。飾りも仮装も手が込んでいて、怖いくらいでした。

その後は私の小さい頃の話や好きな歌手について話したり、自分から進んでコミュニケーションをとれるようになりました。Sarah の友達とたくさん笑って、とても楽しい1日でした。



ハロウィーンの仮装



ボストンにて Fry 家と叔母の家族と

#### 《5日目》

ホストファミリーとボストンへ。スターバックスに行き、ニューベリー・ストリートを歩き、オルガン奏者の私の叔父がいる教会に行きました。そこには世界で8番目に大きいオルガンがあり、実際にひかせてもらい、すごい迫力を体感しました。そして、私がアメリカについて興味を持つきっかけになった、はとこのエマと叔母に久々に会えて嬉しかったです。

帰宅後は、日本から持ってきたうどんとイカ飯を天嶺さんと一緒に作りました。喜んで食べてもらえて嬉しかったです。そして私が以前トイストーリーを好きだと言ったことを覚えてくれていて、DVD鑑賞をしました。フライ家に出会え

て本当に良かったと改めて思った1日でした。

#### 《6日目》

ケンブリッジ市、ハーバード大学に行きました。アメリカ最古の大学ということで歴史を感じました。昼食には大きいピザや肉を食べながら、研修メンバーとより仲を深められました。

#### 《7日目》

ホストファミリーと過ごす最後の日。高校への登校も今日が最後かと思うと泣きそうでした。

午前は administration の授業中に、Sarah がパソコンで、アメリカで流行っている歌手を調べてくれたり、私の好きな歌手の動画を見て cool!! と言ってくれました。持ってきたハイチュウをプレゼントしたりして、他の生徒とも仲良くなれました。

そして一旦高校を出て、ノースブリッジに行きました。この橋は独立戦争が起こった所で、ミニットマン像や戦いで亡くなったイギリス人のお墓があり、「この墓を見ると、かつて日本とも戦争をしたことを思い出すけれど、今こうやって交流ができていることを嬉しく思う」というデイビット先生の話に感動しました。その後行ったウォルデンポンドはとてもキレイでした。

そして学校に戻ると、念願のスクールバンドとの演奏をすることができ、言葉は通じなくても音で気持ちは伝わるのだと知ることができました。とても楽しいひと時でした。

学校が終わった後は、サイファイクラブ主催のパーティーに出席しました。Sarah が私に美味しいご飯を勧めてくれたり、逆に私たちが Sarah に日本語を教えたりと、いっぱい話して笑って楽しかったです。

その夜、ホストファミリーからたくさんのプレゼントをもらい泣いてしまいました。そして感謝の気持ちを込め、日本から持ってきたソプラノサクソを演奏しました。お母さんの Jude が一緒に歌ってくれ、嬉しかったです。



Sarah とのツーショット

ずっとこのまま明日が来なければいいのにといい、なかなか寝付けませんでした。

#### 《8日目》

朝になり別れが来てしまいました。私はこっそり書いていた手紙を渡しハグをして、感謝を伝えました。もう本当に最後なのだと思います、悲しすぎて涙が止まりませんでした。

そして4時間バスに乗り、世界中心の都市ニューヨークに着きました！今まで見たことのない高層ビルや、たくさんの人で溢れていて驚きの連続でした。

まず国際連合本部ビルやロックフェラーセンターに行きました。展望台からの景色は素晴らしく、エンパイアステートビル全体を眺められました。タイムズスクエアはきらびやかで日本とは別世界に感じました。

ニューヨークは夜でも明るく、サックスを吹いている人がいたり賑やかでしたが、一方で薬物を売ろうとする人がいたり、怖い一面もありました。また、全体的に物価が高い印象でした。ホテルは高校生メンバーで泊まり楽しい思い出ができました。



自由の女神の前で

#### 《9日目》

高校生の2人とセーラム市で買ったお揃いのパーカーを着て、自由の女神像を見に行きました。予想以上に大きく、緑色だということに驚きました。そして次に9.11同時多発テロが起きたワールド・トレードセンターの跡地に行ってきました。貯水池のようなものの周りに亡くなった犠牲者の方の名前が彫ってあったり、そのテロの中、生き残った木や美術作品がモニュメントとして残されていて、どれだけ悲惨なことが起こったのかと悲しくなり、絶対に許されないことだと改めて思いました。

アメリカ最後の夜にはステーキを食べ、今日で海外研修も最後だと思おうと寂しくなり泣いてしまいました。

この研修に参加させていただき、日本では感じることのできない、たくさんの方に触れ世界観が広がりました。アメリカへ行く前は不安でいっぱいでしたが、だんだん自ら色々な事にチャレンジでき、以前より積極的になり強くなれたと思います。この機会を与えてくれた七飯町や両親、Fry家には感謝でいっぱいです。これから恩返しができるよう、この経験を生かし夢に向かって進んでいこうと思います。そしてお金を貯め、英語をもっと上達させて成長した自分で、いつか再びコンコードへ行きたいです。